

* 2011 年 5 月 作成（第 7 版）
 ** 2011 年 5 月 作成（第 7 版）

歯 0 3 義歯床材料
 管理医療機器 クラス II 義歯床用補修用レジン (JMDN 70831000)

タフロン・リベース “B”

【禁忌・禁止】

本材又はメタクリレート系ポリマー、フタル酸エステル系可塑剤又はメタクリレート系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には、使用しないこと。

【形状・構造等】

本品は、次の構成品で構成し、記載の成分を含有します。

粉末：MMA とその他の重合体、着色材、反応会資材

液：MMA，反応開始材

・該当規格：JIS T 6521（義歯床用硬質裏装材）

タイプ 1、クラス I。

色調：#0（透明）、#1（ライトピンク）、#2（ピンク）、#3（ダークピンク）、#4（アイボリー）、#2 S（繊維入ピンク）、#3 S（繊維入ダークピンク）、#8（ライブピンク） #10（透明ピンク）

【性能、使用目的、効能又は効果】

常温で、義歯床の改床、破損床の修理、脱落歯の補充、釣の取り替え、床縁の延長等に用いる。

【操作方法又は使用方法等】

・前準備

適合の悪くなった義歯床の接着を図るためバー、ポイントにて表面を一層削り、よく乾燥させます。

① 筆積法

1. 粉末と液（使用量より少し多い目）を別個容器に採る。
2. 先ず筆に液を浸し修理箇所によく塗布します。
3. 再び筆に液を浸ませ盛り上げた粉末中に入れると穂先に球状になって粉末が附着します。
4. それを素早く修理箇所に移し、出来るだけ表面積を大きく塗り上げて行きます。（途中時々筆先をガーゼ等で拭うと操作はより容易です。）そして必要量の添加が完了するまで操作を繰り返し行います。この際気泡の混入しないよう注意すること。

② フリカケ法

1. 石膏面に分離材を塗布乾燥しておきます。
2. 少量の粉末を薄く置き、スポイドで粉末全体に液を染み込ませ再びこの操作を繰り返しながら、面積を広げ、形を整えて、細かい部分は筆積法で仕上げます。

③ 混和法

混和器に液を採り、粉末を徐々に加えながら泥状の程度になるまで掻き混ぜます。（混合比は粉末：液＝5：3が基準です）

1. 混和器に液を採り、粉末を徐々に加えながら泥状の程度になるまで掻き混ぜます。
2. 半流動性の混和物で義歯床の不適合な部分の改床、補修を行います。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- (1) 本材は、採取後速やかに使用し、容器はすぐに密栓すること。

【使用上の注意】

(1) 使用注意

- ① 液は可燃性なので、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。又、テーブル、床などにこぼした場合には、すぐに乾いた布等で拭き取りのこと。

- ② 本材を使用する際には、適切な換気（1 時間当り数回の換気）がなされている場所で使用すること。

- ③ ** 重合したレジンとは 24 時間以上水中に保存し、残留モノマーを溶出させてから口腔内に装着すること。

- ④ 本剤と他の製品と混用しないこと。

- ⑤ **【保管不良・間違った組成（配合）、他の製品との混用等】で強度不足、不具合、違和感（義歯の破損）等生じる可能性があるもので注意すること。

- ⑤ 粘膜が炎症を起こしている場合、又は被圧変位量に大きな差のあるときには、あらかじめ粘膜調整を行うこと。

- ⑥ 本材の重合体を研削、研磨する際には、防塵マスク等を使用し、粉塵を吸入しないこと。

- ⑦ 本材は、【性能、使用目的、効能又は効果】の項に記載の用途以外には使用しないこと。

- ⑧ 本材は歯科の従事者以外が触れないように適切に保管、管理すること。

(2) 重要な基本的注意

- ① 本材に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の即応歴のある患者には使用しないこと、又、本材の使用により発疹等の過敏症状が現れた患者又は術者においては、直ちに使用を中止し、専門医の診断を受けさせるか、又は受けること。

又、妊婦や幼児への使用は控えること。

- ② 本材を使用する際には、必ず医療用（歯科用）手袋及び保護眼鏡等を着用し、目、皮膚又は衣類に付着しないよう十分に注意すること。

- ③ 本材が患者さんの目、皮膚又は衣類に付着しないような措置を講じること。又、適用部位以外の口腔粘膜にはなるべく付着させないこと。

- ④ 本材が、万一目に入った場合には、直ちに大量の流水で洗浄した後、眼科医の診断を受けさせること。

- ⑤ 口腔内作業完了後は、直ちに口腔内を十分洗浄する（十分洗口させる）こと。また、皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸を使用し流水で十分洗浄すること。衣類に付着した場合には、直ちにアルコール（綿球）で十分拭き取ること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

【貯蔵・保管方法】

- ・ 本材は火気、高温、多湿又は直射日光を避けて室温「0～23℃」で保管すること。
- ・ 使用及び保管場所には、消火器を備え、同一保管場所に多量に保管しないこと。
- ・ 粉末、液ともに必ず蓋を良く締めて保管すること。
- ・ 本材は、歯科の従事者以外が触れないよう適切に保管すること。

【使用期限】

本材は、容器に記載の使用期限までに使用すること。

【記載使用期限は、当社データによる。】

【製造販売業又は製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元：三木化学工業株式会社

住所：〒604-8441

京都市中京区西ノ京西中合町 18

電話番号：075-841-3461

FAX 番号：075-841-3998